

心を癒す
天使の歌声

ウィーン少年合唱団

カペルマイスター: マヌエル・フーバー
Kapellmeister: Manuel HUBER



ぼくたちの地球 そして未来へ

- J. シュトラウスⅡ世: 美しく青きドナウ
- 岡野貞一: ふるさと
- 中山晋平: ゴンドラの唄
- ロイド・ウェバー: ミュージカル「キャッツ」より<ジェニエドッツ〜おばさん猫>
- リチャード/ロバート・シャーマン: ディズニー映画「ジャングル・ブック」より<君のようになりたい>
- メンケン: ディズニー映画「美女と野獣」より<美女と野獣> ほか

※やむを得ない事情により、曲目・曲順が変更になる場合がございます。

2025 **5.18** 日 午後2時開演
(午後1時20分開場)

越後妻有文化ホール **段十ろろ**

[アクセス] JR飯山線及び北越急行ほくほく線十日町駅より徒歩15分

チケット料金 **全席指定 (一般) 4,500円**

※消費税込み。当日は500円増。
※車椅子席希望者はチケット購入時にお申し出ください。
※4歳以下の入場はご遠慮ください。

チケット販売

[Web販売] 3月19日(水) 午前9時より段十ろろ Webサイトで販売
[一般販売] 3月22日(土) 午前9時より段十ろろ窓口で販売
午前10時よりe+(イープラス)で販売



◀ 段十ろろWebチケットサービスはこちらから申し込みください。

プレイガイド 越後妻有文化ホール「段十ろろ」、e+(イープラス)
南魚沼市民会館、魚沼市響きの森文化会館

ウィーンの特徴、音楽大使として世界中の人々の心を癒す天使たち

ウィーン少年合唱団の創立は1498年(日本では戦国時代の明応7年)、皇帝マクシミリアン1世により宮廷音楽隊で歌う6名の少年が集められたことに始まり、ウィーン宮廷音楽礼拝堂、宮廷少年合唱団、そしてウィーン少年合唱団の基礎となる。巨匠トスカニーニが彼らのコーラスを評して《天使の歌声》と命名したことで有名。世界の数ある少年(少女)合唱団の中でも抜群の人気と実力を誇り、9歳から14歳の約100名のメンバーは全員アウガルテン宮殿で生活している。ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーとウィーン少年合唱団にゆかりのある作曲家の名がついた4つのグループに分かれ、ヨーロッパ各国、アメリカ、アジア、オセアニアなど世

界中のコンサートに出演。本拠地ウィーンでもウィーン国立歌劇場やフォルクスオーパー、ザルツブルク音楽祭やウィーン・フィルのニューイヤーコンサートへの出演を重ね、ウィーンを代表する団体のひとつとして活躍している。また、宮廷礼拝堂のミサで歌うことは今も昔もウィーン少年合唱団の使命とされている。2017年にオーストリアのUNESCO無形文化遺産に登録され、2024年には芸術的および社会的に傑出した業績を残した団体や著名人に贈られる欧州で最も重要な賞のひとつ『ヨーロッパ文化賞』をウィーン少女合唱団と共同で受賞した。2025年はモーツァルト組(カペルマイスター:マヌエル・フーバー)が来日。

Wiener Sängerknaben

カペルマイスター: マヌエル・フーバー Kapellmeister: Manuel HUBER

ウィーン少年合唱団モーツァルト組 2025年日本公演来日メンバー



マヌエル・フーバー Manuel HUBER
モーツァルト組カペルマイスター

イタリアの南チロル地方プリクセン出身。6歳でピアノを始め、2003年から2011年までプリクセンの少年合唱団「ヴァンツェンティナー少年合唱団」に所属し、後に団長も務めた。15歳で指揮を開始し、故郷ヴァイテンタールの児童合唱団、女性コーラス、教会合唱団を指導すると同時に、プリクセンのクラウディオ・モンテヴェルディ音楽院でピアノを学んだ。その後、ザルツブルク・モーツァルトウム大学で合唱指揮、音楽教育、オーケストラ指揮を専攻し、ザルツブルク大学で心理学を併せて学ぶ。2018年に優秀な成績で卒業。豊富な経験を持つ合唱指揮者として、さまざまな合唱団を指揮し、合唱指揮や発声トレーニングの講義を行っている。2017年にはオペラフェスティバル「グート・イムリング」のユースプロジェクトの音楽監督を務め、カンマーフィルハーモニー・ブドヴァイス、バート・ライヒェンハル・フィルハーモニー、モーツァルトウム大学交響楽団を指揮。テルツ少年合唱団のボイストレーナーおよび合唱指揮者を2年間務めた経歴も持つ。2019年5月にウィーン少年合唱団モーツァルト組のカペルマイスターに就任。2025年が初の来日公演。